



# 「ラーゲリより愛を込めて」 父・山本幡男の強い信念を受け継いで 『支配・収奪のない未来へ』-「世界文化再建」と私たちの役割

**2/12 (日) 9:30開場 10:00開演**

場所：板橋区立グリーンホール 1階ホール（板橋区栄町 36-1） 参加費：1000円

2022年12月「ラーゲリより愛を込めて」の上映が始まりました。原作は辺見じゅんさんの「収容所（ラーゲリ）から来た遺書」で、戦後のラーゲリで起きた実話です。瀬々敬久監督によって映画化されました。

今回、お話をする山本厚生さんは、幡男さんの次男で遺書を受け取ったひとりです。遺書に託されていたこと、「片時も忘れてはならぬ」ととは何か。日本民族の「歴史的使命」とは何か。そしてその思いを受け継いで、厚生さん自身の生き方や考えを「未来への伝言」として語っていただきます。

日本では、ウクライナ戦争と台湾有事を口実にした軍拡と戦争への体制づくりが進行しています。テレビ番組『徹子の部屋』で、黒柳徹子さんの「来年はどんな年になりますかね?」という問いかけに、タモリさんが「新しい戦前になるんじゃないですかね」と答えたように、戦争の影がすでに覆い始めているのかもしれない。

こんな時代にあらためて私たちは次の世代に何を受け継ぐのかを考え、行動したいと思います。

**お申込みはフォームへお願いします**

(参加費は会場の受付でお支払いください)

<https://nu-e.com/20230212yamamoto/>

主催：新建築家技術者集団

TEL 03-3260-9810 [shinken-tokyo@group.email.ne.jp](mailto:shinken-tokyo@group.email.ne.jp)

